

科目	世界史研究	単位数	2	学年	3	学級	全	学科	普通科 国際教養科
----	-------	-----	---	----	---	----	---	----	--------------

学習の到達目標	史料を解説し、歴史的事実、背景、文化などを読み解く力を養成し、歴史の理解をより深める。
使用教科書 副教材等	教科書:詳説世界史B(山川出版) 資料集:NEW・STAGE 世界史詳覧(浜島書店)

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	中国史 ・ 殷 周 秦 漢	中国史を中心に古代文明の誕生から発展までの基本的史料を精査し、実証的に歴史的事実を理解する。
	5		
	6	・ 魏晋南北朝 隋 唐	中国史を中心に古代文明の誕生から発展までの基本的史料を精査し、実証的に歴史的事実を理解させる。中国の制度が日本にも大きな影響を与えたことを理解させる。
	7	・ 宋 元 明	また、中国および周辺諸国の歴史を概観するとともに、冊封体制で結ばれていたことを理解させる。
後期	9		
	10	・ 明	明清時代は中華思想からヨーロッパ人の渡来によって変化していく過程を理解させる。 清は女真族の王朝であり、中国史全体を通して、漢民族と周辺民族の抗争の歴史であったことを理解させる。
	11	・ 清	
	12	・ ティムール帝国 オスマン帝国	イスラーム世界の発展を学習する。イベリア半島におけるイスラーム勢力や、十字軍など、ヨーロッパ世界のかかわりについても理解させたい。 アッバース朝以降、イスラーム世界は分裂していくことを理解させる。
	1	・ ムガル帝国 サファヴィー朝	ムガル帝国はイスラームの厳格化によって、ヒンドゥー教徒らとの対立が深まり、衰退していくことを理解させる。 オスマン帝国のバルカン支配が現在の世界に大きな影響を与えていることを理解させたい。
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	世界の歴史に対する興味、関心が高まっているか。主体的、意欲的に学習に取り組んでいるか。	
	思考・判断・表現	世界の歴史を連続的に捉え、今に繋がることを認識できるか。	
	資料活用の技能	史料及び資料を解説し、考え方を身につけているか。また、考察過程や結果を適切に表現できるか。	
	知識・理解	歴史の基本的な事柄を総合的に理解し、その知識を身につけているか。それぞれの時代の特質を理解しているか。	
	評価方法	各期とも考査の点数、出席状況、提出物、学習への取り組み態度を総合的に判断して評価をつけます。年間を通じての評価は2期の成績の平均とします。	
担当教諭から	この科目では2年次で世界史を学習した皆さんが更に知識を深めることをめざします。 テーマ学習を中心に行うので、生徒の興味関心によって違う単元を学習することがあります。		